

## 注 意 事 項

1. 出場者は各種目とも日程表にて時間を確認し、定刻までにプレーのできる準備をして、本部へサインイン(出席の届け出)をしてください。サインインのない場合は棄権とみなします。また、サインイン後でも、試合コール時点で不在の場合は棄権とみなします。
  - ・ドローに記載の時間はサインインの締め切り時間です。この時間までに届け出がない場合は棄権とみなします。
  - ・ドローに記載の時間は試合開始時間ではありません。進行状況によりお待ちいただくことがあります。ご了承ください。
  - ・同一種目で1日に2度以上試合がある場合、再度サインインする必要はありませんが、試合コール時点で不在の場合は棄権とみなします。
  - ・試合中に他の種目の締め切り時間が来そうな場合は、あらかじめ両種目分のサインインを済ませてください。
  - ・両者ともサインインを済ませている場合は、記載の時間より早く試合をコールする場合があります。
2. 雨天時の試合の有無について、電話での問い合わせはできません。協会ホームページ(<http://www.fujisawa-tennis.com/>)の<雨天延期情報>を確認ください。延期情報がない場合は定刻までにコートに参集し、コートレフリーの指示を仰いでください。運営の都合上、開始時間及び日程等を変更することがあります。
3. 試合はいずれも、セルフジャッジで行います。試合方式については下記参照ください。運営の都合上、試合方式、試合順序を変更して行うことがあります。

	試合方式	デュース
一般	3セットマッチ(1,2セットは6-6時7ポイントタイブレーク、 最終セットは10ポイントマッチタイブレーク)	セミアドバンテージ方式 (1デュース後ノーアド)
年齢別	8ゲームズプロセット(8-8時7ポイントタイブレーク)	

4. 申込み数が3名(組)の場合はラウンドロビン方式(総当り)とし、試合方式、試合順、および順位は以下の通りとします。
  - 試合形式:8ゲームズプロセット(8-8時7ポイントタイブレーク)
  - 試合順:原則まずドロー番号が1番と2番が対戦し、次に3番と1戦目の敗者が対戦します。最後に3番と1戦目の勝者が対戦します。
  - 順位:3名(組)が勝率で並んだ場合、取得ゲーム率(=取得したゲーム合計数÷全試合のゲーム合計数)が高いものを上位とします。さらに取得ゲーム率で2名(組)が並んだ場合は直接対決の勝者を上位とします。上記でも順位が決まらない場合、レフェリーが決定方法を決めることとします。
5. 使用球はダンロップフォートとし、本部より貸与します。  
※原則1試合1缶(2球)使用としますが、ハードコートで3セットマッチを実施するときのみ1セット目終了時点でボールチェンジを行います。
6. 砂入り人工芝コート使用時には試合中のボールチェンジはありません。
7. 試合終了後、勝者はボールと記録を本部へ返却し、次の試合の時間を確認してください。
8. 服装はテニスウェアに限ります。  
※昨年まではゲームシャツ・パンツとしましたが、プラクティス用もOKとします。明らかにテニス用ではないもの(マラソンの参加賞、サッカーのユニフォーム等)はご遠慮願います。
9. 試合前のウォームアップは5分以内とします(時間厳守)。進行状況によりサーブ4本以内に変更することもあります。
10. エンド交代時の休憩は給水や汗を拭う程度の時間に留め、すみやかにエンド交代をお願いします。
11. その他については、JTAルールを適用します。
12. 試合中は携帯電話の電源を切るか、マナーモードへの切り替えを徹底願います。
13. 試合中の傷害・疾病・盗難については、主催者は責任を負えませんので、各自十分ご注意ください。尚、テニス傷害保険に加入される事をおすすめします。
14. 各会場ともゴミ箱はありません。各自のゴミは持ち帰るよう、協力願います。
15. 男子一般単ベスト4以上、男子一般複、女子一般単複のファイナリストには、神奈川県選手権の同一種目への出場資格が与えられます。 ※神奈川県選手権への出場は別途申し込みが必要となります。
16. 男女一般単の優勝者には、第4回岩淵元杯藤沢オープンテニス大会(2018年5月開催予定)のワイルドカードが与えられます。
17. 辻堂南部公園の無料駐車場は利用できません。付近の有料駐車場か、最寄りの交通機関をご利用ください。
18. 大会関係者の辻堂南部公園壁打ち利用は禁止とします。
19. 試合結果及び表彰者の写真を協会ホームページに掲載いたします。不都合のある方は申し出てください。

### セルフジャッジについて

サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンスする。

ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。ボールがラインにタッチしたとき、あるいはアウトかグッドか不明の場合は「グッド」である。ボールとラインの間にはっきりと空間が見えたときは「アウト」または「フォールト」である。

判定とコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに行う。人差し指を出して、アウト、フォールトを示し、手のひらを地面に向けてグッドを示す。

サービスのレットはレシーバーがコールする。フットフォールトは、サーバー自身で気をつける。

イン/アウトの判定がダブルスのペアで食い違った場合は、そのペアの失点となる。

砂入人工芝のコートであっても、ボールマークのチェックを行うことはできない(判定は瞬間的に行う)。

判定等についてトラブルが生じた場合は、すみやかにレフェリーに申告する。